

丸 積極的に活動推進

鉄スクラップヤード業者、丸栄（本社・埼玉県久喜市、社長・諏訪文晴氏）に埼玉県環境政策課から「埼玉県環境SDGs取組宣言書」の宣言証が発給された。今年の宣言証には同社が宣言を行った日付である令和3年5月25日を記載。埼玉県のホームページに掲載された同社の取り組み報告によると、4項目のSDGs（持続可能な開発目標）に向け、引き続き積極的に活動を進めている。

具体的な取り組みとして、3R推進では「鋼材や鋼板でリユースできるものは自社構内の防音壁や構内敷鉄板として再利用している」とした。廃棄物処

理では「より細密に選別する設備導入を進めており」廃棄物の減量と有価物回収率の向上を計画。また、コロナ禍でも通常営業を継続し、地域社会に貢献した。人事育成・環境学習に関しては鉄スクラップの環境価値「CO₂ マイナス1・39ト」のバッヂとステッカーを従業員に配布・装着しているとした。

埼玉県環境SDGs取組宣言企業制度は、環境分野のSDGsのゴール達成に向けた取り組みを宣言し、一定の要件を満たす企業の取り組みを県のホームページなどで発信し、支援するもの。9月15日時点で593社・団体が参加している。

